

一心と身体に響く太鼓一打・民舞の躍動は元気の源、大きな輪になって夢体験

2012年日本のうたごえ 西日本郷土講習会

和太鼓



塩原 良

しの笛



高野 巧

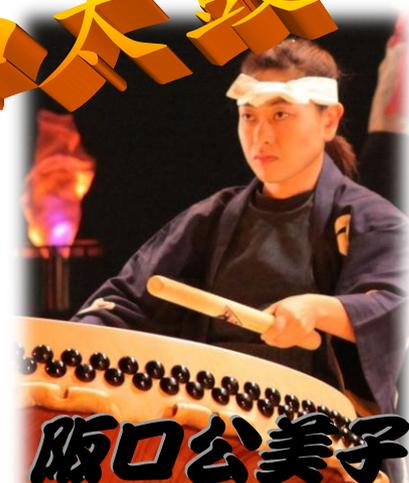


民舞



柿崎 行美

和太鼓



阪口 公美子



日時 5月5日(祝・土)pm0:30~6日(日)pm3:30



会場 こうべ輪太鼓センター会館 (JR 兵庫駅から南に徒歩8分)

主催/日本のうたごえ全国協議会

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36 TEL 03-3200-0106 FAX 03-3200-0193

事務局/こうべ輪太鼓センター

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 こうべ輪太鼓センター会館
TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536 e-mail:kobe@wadaiko-center.com

◇参加申し込み方法◇

◆募集定員 (全体100名)

- ①和太鼓コース／鹿島の天狗：30名
 - ②和太鼓コース／にぎわい太鼓：30名
 - ③民舞コース／津軽じょんから節：30名
 - ④しの笛コース：10名
- ※会場の関係等で定員が一部変更になる場合があります。

◆受講料

	一般	協議会加盟	中・高校生	小学生
受講料 (円)	13,000	12,000	9,000	8,000

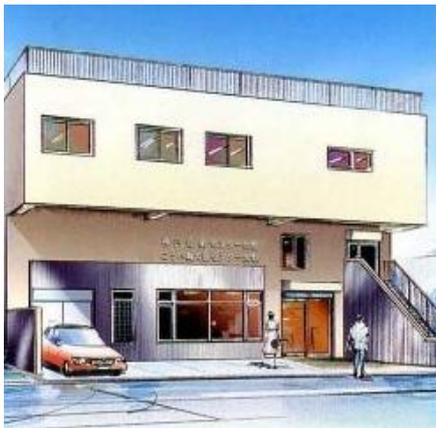
- * 1日参加の場合は、一般9,000円、加盟8,000円、中・高校生6,000円、小学生5,000円
- * 宿泊希望の場合は事務局まで早めに申し出て下さい。(実費)

◆申し込み

- ①下記の申込用紙に必要事項を記入して郵送又はFAX等で講習会事務局までお申し込みください。
※必要事項がわかれば、所定の申込用紙以外、メールでもOKです。
- ②入金方法：申し込み後、1週間以内に受講料を次の口座にお振込みください。ご入金確認次第正式受付とさせていただきます。
◇銀行振込 三井住友銀行三宮支店 7634323 こうべ輪太鼓センター
◇郵便振替 01120-2-85567 こうべ輪太鼓センター
- ③申し込み締め切り：第1次3/18(日)、第2次4/15(日)、最終4/28(土)事務局到着分までを基本。
※宿泊を伴う場合は4/15(日)事務局着分まで厳守！以後は各自でお願いします。

◆諸注意

- ①持ち物：運動のできる服装と上履きをご用意ください。(更衣室をご利用いただけます。)貸しバチはありません。バチ、足袋は当日会場でも販売しています。
- ②その他：会館には駐車場が8～9台分ありますが、予約はできません。(駐車料金不要)



▲こうべ輪太鼓センター会館



▲JR兵庫駅より南に徒歩8分

■申込み先／**こうべ輪太鼓センター** 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通2-1-23 TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536
e-mail:kobe@wadaiko-center.com http://www.wadaiko-center.com / キリトリ線

2012年『西日本郷土講習会』参加申込書

申込書	●氏名 (ふりがな)	●住所 〒		●TEL
	●年齢 男・女			●FAX
	●受講希望コース (○で囲んでください)	●参加費支払方法	●和太鼓・民舞・しの笛経験	●宿泊
	① ② ③ ④	・銀行振込・郵便振替	有()年・無	要・不要
				●申込日 年 月 日
				●受付日 年 月 日

 **コース①****和太鼓・鹿島の天狗** —太鼓経験者—**講師 塩原良**

塩原良創作和太鼓曲。石川県の鹿島町に伝わる天平太鼓（てんぴょうだいこ）は、「天のもとにはみな平」という思いで、農民、僧侶が身分を超えて雨乞いしたといういわれで打ち継がれてきました。昔の鹿島町は、修験道の修業僧が修行のためによく訪れた土地で、しばしばその鍛え抜かれた僧侶の身のこなしや姿が天狗にたとえられたと言います。

一つの平置きの太鼓を何人もで交代しながら打ちあげていく能登御陣乗系の天平太鼓を初心者でも楽しく打てるように編曲、創作したのが「鹿島の天狗」です。基本的には長胴太鼓 1 台で演奏でき、打ち手の個性が生かせる入門曲です。どうか自分の心の中で、天狗に変身しながら楽しく打ちあげてください。

 **コース②****和太鼓・にぎわいの太鼓** —太鼓初心者・経験者—**講師 阪口公美子**

日本のうたごえ 60 周年東京祭典の記念創作曲。とても明るい曲想で、太鼓を打つ楽しさが伝わってきます。基本は 1 台の太鼓を 3 人で打ち鳴らします。「ワッショイワッショイ」の掛け声も勇ましく、大勢で演奏するとさらに迫力増すこと疑いなしです。初心者でも安心して参加できます。グループこそってご参加ください。

 **コース③****民舞・津軽じょんがら節** —民舞初心者・経験者—**講師 柿崎竹美**

厳しい風土の中、旅芸人によって伝えられた唄と踊り、三味線が、人々の数少ない娯楽でした。有名な民謡「津軽じょんがら節」にのせて踊ります。津軽三味線の速い調べにあわせて踊られる津軽の手踊りは多くのファンを魅了すること疑いありません。

 **コース④****しの笛** —しの笛初心者・経験者—**講師 高野巧**

中国より伝来し、平安時代に“田楽”の中で使用されたのがルーツと言われる「篠笛（しのぶえ）」。地域の祭事などを通じて日本の社会に密着しながら、大衆芸能の笛として継承されてきました。日本人の心に響くその音色を、自分で奏でる、初心者でも気軽に始められる「しの笛入門コース」。しの笛の第一人者、高野巧が手厚くサポートします。

《講習会スケジュール》

1日目・5/5(祝・土)

12:00 受付開始

12:30 開講・全体会

13:00 コース別講習Ⅰ

17:00 講習会終了

18:00 被災地支援

「日中異文化交流コンサート

&うたう会」に参加(講習会参加者は無料)

20:30 終了～自主交流

2日目・5/6(日)

9:30 コース別講習Ⅱ

12:30 昼食

13:30 コース別講習Ⅲ

15:00 全体会、成果発表

15:30 閉会

塩原良◆和太鼓奏者・吟遊打人(ぎんゆうだじん)

和太鼓奏者・和太鼓作曲者・演出者

横浜放送映画専門学校(現:日本映画学校)

映像科・研究科卒。1985年 映画監督の

今村昌平氏に勧められて、長野県伊那市にある

歌舞劇団「田楽座」(でんがくざ)に演技者

として入座。以後13年間の地方歌舞団演技

者、創作者活動を経て、下伊那郡初のプロ和太鼓奏者として、199

9年独立。その後、各国内太鼓コンテストにて各賞多数受賞。

2004年~2006年、宝塚歌劇団OG「但馬久美(たじまぐみ)」、

ダンサー「アキコ・カンダ」、歌手「雪村いづみ」等、異分野のアー

ティストと積極的に共演。2007年、東京ドームで行われた、山本

寛斎氏プロデュース・KANSAISUPER SHO。「太陽の船」

に300人太鼓組の塩原組リーダーとして御花泉と共に出演参加。また

同年、第6回東京国際和太鼓コンテスト大太鼓の部にて、最優秀賞

受賞。2010年長野県諏訪市御柱祭にて、秋宮木落とし、秋宮建御

柱にて奉納太鼓演奏。長野県飯田市お練りまつりに創作芸能「吉祥開

運熊手踊り」を発表。現在、長野県飯田市和太鼓道場 命響館(めい

きょうかん)「杜の学校」(もりのがっこう)の運営、代表講師を務め、

長野県下伊那郡高森町出原区に在住。愛する伊那谷を拠点とし、プロ

デュースチーム和太鼓・絆 御花泉と共に演奏活動を続けている。



阪口公美子◆太鼓衆団輪田鼓

1999年よりこうべ輪太鼓センターの専従

活動を始める。現在同センターの事務局長、

専任講師、輪田鼓団員としてセンター内外の

太鼓・民舞の指導者として幅広く活動してい

る。太鼓衆団輪田鼓は1989年創立以来、

神戸を拠点に日本各地に伝わる民俗伝統芸能

を現代的なリズムも生かしてその芸能の“い

のち”を伝えようと取り組んでいる。94年、96年にはニュージーラ

ンド公演を成功させ02年にはバリ島公演を行い、世界的にも注目を集

めているアートフェスティバルに出演のほか、ガムランやジェゴグの民

族グループとの共演を成功させ好評を博す。04年8月には第3次ニ

ュージーランド公演を05年には中国公演、07年にはポーランド・チ

ェコ公演、09年には韓国公演を各々成功させる。03年に神戸市兵庫

区内に建設したこうべ輪太鼓センター会館並びに08年5月に西宮市

内にオープンした西宮太鼓スタジオ等で30教室250名が太鼓や民

舞を学ぶなど、太鼓や民舞を通じてその人材育成を図る一方、市内外の

様々なイベント、学校公演などにも出演している。05年10月23日

には新潟県小千谷市にて中越震災復興記念式典のなかでの公演、11

年5月の連休には、南三陸町・女川町・仙台市の東日本震災被災地へ

の激励コンサートを行っている。2011年9月には新神戸オリエン

タル劇場にて第15回公演「鑑真和上-和太鼓としての笛、雅楽、聲明でつ

づる歴史ロマン」を成功させている。本年2月には酒蔵公演「清盛つ

辯天」9月には第16回公演「和太鼓としての笛、土蜘蛛と大蛇の舞でつ

づる鬼伝説-酒呑童子」を予定している。



高野巧◆初代鬼太鼓座

1953年新潟県佐渡島生まれ。佐渡島に大学を

設立しようと設立された鬼太鼓座に参加、精神性・

肉体性・音楽性三位一体を目指して笛や太鼓、踊り、

走りなどを学ぶ。舞台ではフルマラソン2時間30

分台の走力をかわれて主に篠笛を担当。師匠は藤倉

名生。現在姫路に在住。太鼓は人と人とのアンサン

ブルでより響きわたるもの、地をはう低音は生きる活力を、空を裂く

高音は夢と希望を与えてくれるものと信じ演奏を続けている。



柿崎竹美◆民舞

1977年秋田県由利郡東由利町出身。中学入学前

から地元の「民謡同好会」に通いはじめ、15歳で

浅野梅若師に内弟子入門。NHK東北民謡コンク

ール新人部門優勝、日本民謡協会全国大会 内閣総理

大臣賞受賞、日本民謡フェスティバルユ96グラン

プリなど数々のコンクールに入賞。平成11年には、

小椋桂プロデュース歌語り「一休恋慕」に出演。同年8月には「伊藤

多喜雄&TAKIO&BAND」にコーラスで参加するとともに、翌

年デビューアルバム「k i t a k a - s a s s a」を発売しソロ活動

を開始。これまで紅白に伊藤多喜雄氏と一緒に出演する等している。



被災地支援 日中異文化交流 コンサート&うたう会

5/5(日) 18:00 ~20:30
こうべ輪太鼓センター会館
(神戸市兵庫区芦原通2-1-23)

